

“民主党・ふじのくに県議団”

からの

お知らせ

平成24年7月発行

民主党所属議員や無所属議員など、『共に創るふじのくに』をモットーに、真の改革派として是々非々を旨とし、現場感覚に基づく政策立案を積極的にすすめていく議員の集まりです。

会報をリニューアルいたしました。
今後とも私ども会派を
よろしくお願いいたします。



一般質問

6月29日/佐野 愛子

Q●本県での教育のあり方の現状をどのように捉え、今後どのように進めていくのか見解を伺います。

A●教員の自主的な研修が活発に行われており、授業研究・改善が進められています。教員の研鑽の成果は、児童生徒への「確かな学力」の育成に着実に結び付いています。さらに、集団の中で、他者とのコミュニケーションを図り、人に役立つことの喜びを体得しながら、自らの進路実現に向かってたくましく成長している事は、教職員の日々の努力や創意工夫、家庭や地域の理解と協力の賜物であり、県教委としては、これまで以上に教育現場を支えて参ります。



佐野 愛子

代表質問

平成24年6月27日

代表質問 源馬謙太郎

南海トラフを震源とする地震の津波高への対応

Q●南海トラフの巨大津波高への対応は？

A●3月31日に内閣府が公表した最大規模の津波高は、レベル2と言われる1000年に一度来る可能性がある津波の高さで県内に大きな衝撃を与えました。一方で、100年程度の間隔で繰り返し発生しているレベル1の津波に対しては「防ぐ」、レベル2は「防げないから逃げる」ということを基本として打ち出し対策を進めていきます。

民間寄付を活用した津波対策について

Q●県民や民間からの防災に対する寄附の扱いは？

A●一条公務店グループ、植松鈴木組からのそれぞれ300億円、1,000万円のありがたい寄附の申し出がありました。県はこの寄附を浜松市沿岸域の防潮堤建設に活用していきます。今後、同様のありがたい申し出があった場合にも対応できるよう、基金を創設し、こうした「自分達の地域に何かしたい」というありがたい申し出をくみとっていけるようになります。

特集 TOPICS

森林・林業・林活業議員連盟視察報告

静岡県中山間地域発展の参考にするべく、鳥取県智頭町を視察しました。

【鳥取県智頭町】岡山・兵庫・鳥取の県境に位置する人口8,000人ほどの町。中国山脈の山々に囲まれた江戸時代からの伝統林業地

森のようちえん【まるたんぼう】

<智頭の町がそっくりそのまま園舎>

- 園児は現在31名(町外からの通園は23名)
- 一年中、自然の中での野外保育。
- 自然との共存で、心身ともに成長しています。



卒園式での一枚。

木の宿場(やど)プロジェクト

—軽トラとチェーンソーで晩酌を!—

放置材1トン当たり6,000円相当の地域通貨(杉小判)がもらえる。

- 長さ50cm、径5cm以上なら引取り可
- 杉小判は地元の登録商店で使用可

地元住民「喜びの声」

- 汗をかけばお金になる
- 山がきれいになる
- 地元商店も活気付く
- 山仕事を学べて、杉小判で嫁さんが喜び、仲間の輪が広がった



プロジェクト初日、軽トラックの行列。



なかなかおもしろいプロジェクトだね。



日頃からの備えが大事だね!



あじがたいお話を。